

# 総合的な学習の時間 指導改善のポイント ～「探究のプロセス」を重視する②～

学習指導要領の趣旨を踏まえ、総合的な学習の時間の指導改善を図っていくにはどのようなことが大切か、前号に引き続きそのポイントをおさえていきます。



前号では、「探究のプロセス」における学習活動例【課題の設定】について紹介しました。  
今回は、【情報の収集】について紹介します。

## 「探究のプロセス」の学習活動例

### 【情報の収集】

#### 事例① アンケート調査で情報を収集する

まず、調査の目的を明確にして「アンケート調査用紙」を作成します。  
作成に当たっては、「短く、分かりやすい質問文にする」「短時間で回答できるよう質問項目を多くしない」「単純な質問から意見を問う質問へ移っていく」といった視点を示すことが大切です。  
アンケート調査は、質問の仕方や相手によって結果が異なってくるので、その点も考慮しながら行わせる必要があります。

#### 事例② インタビューして情報を収集する

インタビュー活動には、フリップボードを提示しながら短時間で多数の人から回答を得る方法と、専門的な立場の人に詳しく話を聞く方法などがあります。  
フリップボードの作成に当たっては、「質問内容を端的に表す」「答えやすい質問にする」「集計表を盛り込んでおく」といった視点を示すことが大切です。  
専門的な立場の人へのインタビュー活動に当たっては、事前に、インタビューメモの作成の指導を通して、内容を十分吟味しておく必要があります。

#### 事例③ 図書室や図書館で情報を収集する

豊富な蔵書の中から目的に合った書籍等を見つけるには、以下のような検索方法を身に付けることが大切です。

- ・ 図書分類法による検索
- ・ コンピュータによる検索
- ・ その他 ※1

なお、調べた際は、情報源（書籍名や著者名、発行年月日等）を必ずメモしておくよう指導することが大切です。

## ※ 1

平成28年度全国学力・学習状況調査（中学校・国語B）において、「あなたが疑問に思ったことを学校図書館で調べる場合、必要な本をどのように探しますか。本の探し方を二つ書きなさい。」という設問がありました。

正答例として、前述した「図書分類法による検索」や「コンピュータによる検索」に加え、以下の方法も示されていました。

- ・ 自分の疑問について司書の先生に説明して本を紹介してもらう。
- ・ 図書カウンターに行って図書委員に関係する本がある場所を聞いてみる。
- ・ 図書館の掲示物を見て関連する本を探す。 など

### 事例④ インターネットで情報を収集する

インターネットによる検索は、膨大な情報の中から目的の情報を瞬時に取り出すことができるとも便利なものです。

児童生徒の実態に応じたサーチ（検索）エンジンを活用して検索する方法などがありますが、適切に情報を取り出すためには、以下のような指導が欠かせません。

- ・ 情報の正確さ、信頼性を判断する方法を指導する。（どんな人が書いたものか確認する。いくつかのサイトを見比べる。など）
- ・ 著作権への配慮や正しい引用方法を指導する。
- ・ インターネットに偏ることなく体験活動も取り入れるなどして実感の伴う学習とする。

### 事例⑤ 電話やFAX、手紙、電子メールで情報を収集する

これらの手段により、直接会うことが難しい相手（専門的な立場の人など）から必要な情報を得ることができます。

それぞれの特性に応じ、以下のような点を指導することが大切です。

- ・ 電話… 調べている内容や現時点での自分の考えなどをしっかりまとめた上で電話させる。
- ・ FAX… 事前に電話してFAXを送ることを伝える。
- ・ 手紙… 自分の宛先を書いた返信用封筒やはがきを同封する。
- ・ 電子メール… 必要のない個人情報を載せないようにする。

### 事例⑥ 実験・観察により情報を収集する

例えば、河川の水質検査において、水の汚れを示すCOD（科学的酸素要求量）の値をパックテストで測定する方法があります。

科学的な方法による実験・観察により、客観的なデータを収集することで、データに基づいた考察につながります。

収集した情報は、その後の探究活動を深める役割を果たすので、インデックスやタイトルを付けてポートフォリオにしたり、コンピュータの個人フォルダに保存したりして適切に蓄積することが大切です。

※ 【整理・分析】、【まとめ・表現】については、引き続き次号で説明していきます。



各事例の詳細については、「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（平成22年11月 文部科学省）」をご覧ください。